



ぎょう がく いち にょ

行学一如

(庄 農 通 信) 号 外

(号外) 令和8年8月27日発行

山形県立庄内農業高等学校

〒999-7601 山形県鶴岡市藤島宇古
楯跡 221 番地 TEL 0235(64)2151

ホーム
ページ



Instagram



『校訓「行学一如」の由来』
 修業（実行・実践）と修学（学問・研究）は一体であって人格形成には学習と実践のどちらも重要であり、互いに影響し合って発展していくものだという仏教の教え。創立 100 周年を記念して制定。

庄内農業高校 教員の働き方改革について （働き方改革プランの取組み状況について）

山形県教育委員会では、教員が生き生きとした姿で教壇に立つことができるようにするため、そして豊かな学校文化の中で子どもたちの学びの質を維持・向上させるため、令和元年 12 月に公立学校における働き方改革プランを策定し、公立学校における働き方改革を推進しており、現在は第 3 期プランを推進中です。

第3期プランでは、「教員が子どもと向き合う時間・自ら学ぶ時間の確保」「組織マネジメントの推進」「働きやすい職場づくりによる人材確保」を大きな方針に掲げ、取組みをさらに推進しています。

これらを踏まえ、庄内農業高等学校でも教員の学校における働き方改革プランを推進しています。本校での主な取組みは、以下の通りです。

- 「学校行事」の見直しと「部活動」の再編整備
 継続的に学校行事の見直しを行うとともに、生徒の状況に応じた部活動の再編整備を行い、教員の負担軽減に努めています。
- 多様な働き方を認め、支え合う学校組織体制の確立
 ワーク・ライフ・バランスの実現に向け職場環境の整備等を継続的にを行い、教員にとっても仕事と家庭生活が両立できる、魅力ある職場としての学校づくりを推進します。
- 業務遂行に関する教職員の意識改革
 ICT の活用による様々な事務処理の軽減等を通して、教員がより教育活動そのものに対する時間を確保し、生徒に向き合う時間を作れるよう、業務内容の継続的な改善に努めます。



- ＜具体的な取組みの例＞
- ・ 一斉退校日の設定（月 1 回）
 - ・ ICT を活用した業務管理
 - ・ さくら連絡網での保護者等との連絡
 - ・ 職員会議ペーパーレス化と効率化（余剰時間の研修等の充実）
 - ・ ICT を活用した授業・教材準備
 - ・ 各教員による施設等管理の徹底
 - ・ 教科・分掌を越えた教員間の連携

本校教員の時間外勤務について

本校教員の勤務時間は基本的に午前8時半から午後5時までとなっておりますが、今年度4月以降の月ごとの時間外勤務（時間外在校等時間）をまとめたものが右の表です。

今後も教員のワーク・ライフ・バランスを実現し、より一層充実した教育活動を展開できるよう引き続き努めてまいります。

庄内農業高等学校 時間外在校等時間 [h(時間) m(分)]			
4月	5月	6月	7月
28h16m	30h14m	27h30m	22h40m

※令和8年4月から7月までの教員 32 名の平均
 <県の目標値> ①月における45時間超の教員0人
 ②1年間における月平均時間30時間以下